

平成 30 年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 大阪大谷大学 実施報告書



実施主体 大阪大谷大学教育学部教育学科幼児教育専攻河野ゼミ  
実施内容 オレンジリボン広報活動

### ①事前に取り組んだ内容

ゼミ内で、子育て支援に関するグループ学習を行った。その後、各グループでテーマを決めてその内容を詳しく調べ発表会を開き、理解を深めた。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・ゼミ内で、グループを作り、地域の子育て支援（子ども食堂、子育て支援施設についてなど）に関するテーマを決め、それらを一般参加者向けにわかりやすく解説したポスターを作成し、当日展示した。
- ・オレンジリボン及び、児相養護施設についての啓発を行うミントリボンの2つを作成し、配布を行った。

### ③オレンジリボン運動を終えて・・・

前回の実施では、「児童虐待」というネガティブな内容に抵抗感があったのか、展示教室に入ろうとする人が少なかったという反省があった。今回はこの反省を踏まえ、「虐待」ではなく、そうしたことに至らないための子育て支援サービスの紹介などの情報の提供をポスター掲示により行った。また、子育て世帯への啓発をターゲットにし、風船を子どもに配りながら、オレンジリボンを保護者に配るといった工夫を行ったことで、昨年度を大きく上回る来場者となった。

また、今年度は新たな啓発活動の試みとして、指の一本にネイルをするポリッシュドマン・チャレンジを行った。これは、指に1本だけネイルすることで周囲の注意を引き、会話の中で児童虐待について話すことで啓発を行う



ものである。

オレンジリボン・ミントリボン（児童養護施設の啓発活動）とあわせて、オレンジ色とミント色のネイルを行った。若い人々の反応が良く、来年度も継続していく予定である。

